



2019年10月4日

近鉄不動産株式会社

## あべのハルカス美術館2020年8月までの展覧会ラインアップ

## 「ムーミン展 THE ART AND THE STORY」開催決定！

会期：2020年7月4日（土）～8月30日（日）

日本一高いビル「あべのハルカス」の16階にあるあべのハルカス美術館は、開館5周年を迎え、多種多様な展覧会を実施してまいりました。

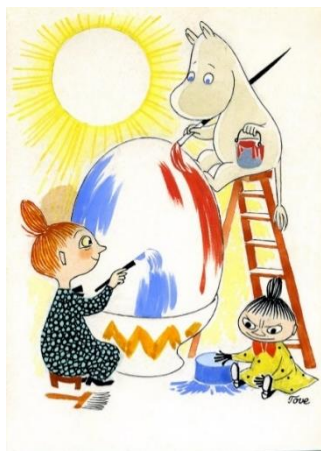
2019年10月からは「ラファエル前派の軌跡展」、「カラヴァッジョ展」、「国宝東塔大修理落慶記念薬師寺展」、「安野光雅展」の4本の展覧会（詳細は別紙参照）を予定しております。上記4本の展覧会に続き、新たに下記展覧会の開催が決定しましたのでお知らせします。今後もより魅力的な都市型美術館として多くのお客様にお越しいただけるよう運営してまいります。

## 「ムーミン展 THE ART AND THE STORY」

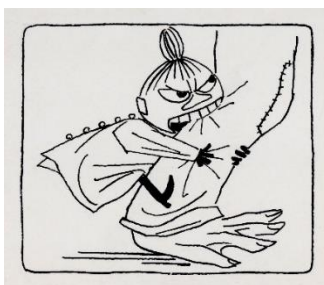
会 期：2020年7月4日（土）～2020年8月30日（日）

共 催：朝日新聞社

開催趣旨：2019年に日本とフィンランドの外交関係樹立100周年を迎え、2020年にはムーミン75周年を迎えます。本展では「ムーミン」の各国版書籍、一般向け小説の原画などの代表作を網羅しムーミンの“決定版”となる展覧会を開催いたします。また、ムーミンの作者のトーベ・ヤンソンがムーミン以前に描いた原画やスケッチなども紹介します。



トーベ・ヤンソン  
《イースターカード 原画》  
1950年代 グワッシュ、インク・紙  
ムーミンキャラクターズ社



トーベ・ヤンソン  
《「ムーミン谷の夏まつり」挿絵》  
1954年 インク・紙 ムーミン美術館



トーベ・ヤンソン  
《「ムーミン谷の彗星」挿絵》  
1946年、1968年(改作) インク・紙 ムーミン美術館

© Moomin Characters™

## ～ あべのハルカス美術館 2019年10月～2020年8月 展覧会ラインアップ ～

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月～
展覧会名	I. ラファエル前派の軌跡展			II. カラヴァッジョ展		III. 国宝東塔大修理落慶記念 薬師寺展		IV. 安野光雅展		ムーミン展 THE ART AND THE STORY	
会期	10月5日(土) ～ 12月15日(日)			12月26日(木) ～ 2020年2月16日(日)		2月28日(金) ～ 4月19日(日)		4月29日(水) ～ 6月24日(水)		7月4日(土) ～ 8月30日(日)	
日数	69日			50日		50日		54日		55日	

## 【詳細】

## I. ラファエル前派の軌跡展

会 期：2019年10月5日(土)～2019年12月15日(日)

共 催：産経新聞社、関西テレビ放送

開催趣旨：1848年、ラファエル前派は英国美術の刷新をめざし結成されました。画壇から攻撃された彼らを擁護したのは、偉大な風景画家ターナーを支援する美術批評家ラスキンでした。その思想はロセッティやミレイ、バーン＝ジョーンズ、モリスらメンバーの精神的支柱となり、多くの追随者に引き継がれてゆきます。本展では、ヴィクトリア朝美術に輝かしい軌跡を残した画家たちの功績と、彼らを照らしたラスキンの美学をご紹介します。



ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
《ムネーモシュネー(記憶の女神)》、  
1876-81年、デラウェア美術館  
© Delaware Art Museum,  
Samuel and Mary R. Bancroft Memorial, 1935



ダンテ・ゲイブリエル・ロセッティ  
《シビュラ・パルミフェラ》  
1865-70年頃、リヴァプール国立美術館、  
レディ・リーヴァー・アート・ギャラリー  
© National Museums Liverpool,  
Lady Lever Art Gallery, Port Sunlight



ジョゼフ・マラード・ウィリアム・ターナー  
《カレの砂浜—引き潮時の餌採り》  
1830年、ペリ美術館  
© Bury Art Museum, Greater Manchester, UK

## Ⅱ. カラヴァッジョ展

会 期：2019年12月26日(木)～2020年2月16日(日)

共 催：読売新聞社、読売テレビ

開 催 趣 旨：17世紀バロック絵画の創始者で、イタリアが誇る天才画家、ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ（1571-1610）。光と闇の交錯する劇的な絵画空間、迫真的な描写は多くの追隨者を生みました。その栄光とは裏腹に、破滅的な人生が伝説ともなりました。わずか60点強とされる現存作品の中から、日本初公開を含む約10点と、彼に影響を受けた画家たちの作品が一堂に集結します。



《リュート弾き》  
ミケランジェロ・メリージ・ダ・カラヴァッジョ  
1596～97年頃 個人蔵



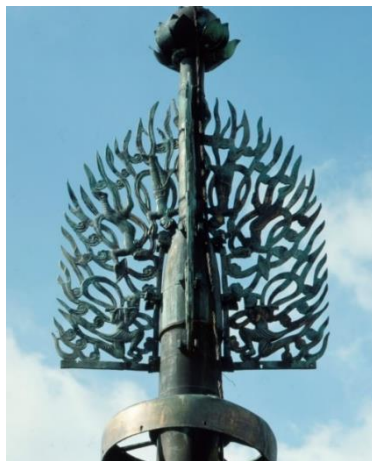
《マグダラのマリア》  
1606年 個人蔵  
©Associazione Metamorfosi

## Ⅲ. 国宝東塔大修理落慶記念 薬師寺展

会 期：2020年2月28日(金)～2020年4月19日(日)

共 催：法相宗大本山薬師寺、読売新聞社、NHK大阪放送局、NHKプラネット近畿

開 催 趣 旨：薬師寺は、西暦680年天武天皇が皇后（後の持統天皇）の病氣平癒を祈願して発願されました。その薬師寺に創建当初から唯一現存する東塔の大規模な解体修理の落慶を記念する展覧会です。今回の修理の成果を初めて紹介すると共に、1300年の長きに渡り東塔の頂を飾っていた水煙や、非公開の国宝、重要文化財を多数含む薬師寺の寺宝を一堂に展示します。



国宝東塔の水煙 ©飛鳥園

#### IV. 安野光雅展

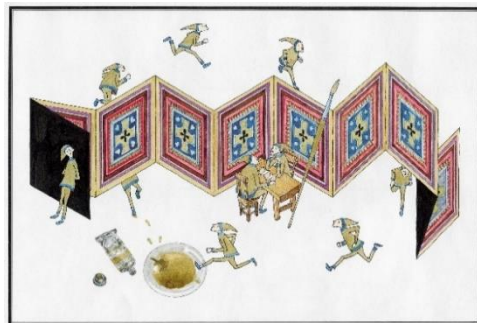
会 期：2020年4月29日(水)～2020年6月24日(水)

共 催：朝日新聞社、関西テレビ放送

開 催 趣 旨：大正15（1926）年、島根県津和野町に生まれた安野光雅は、半世紀以上にわたり画家、絵本作家、装丁家として多彩な活躍を続け、独創的な作品は国内外の高い人気を得ています。本展では、絵本のデビュー作『ふしぎなえ』から、近年の大作『繪本 三國志』まで、やさしく、美しく、ユーモアと不思議にあふれた安野ワールドを紹介します。



『旅の絵本VI デンマーク』2004年  
©空想工房



『ふしぎなえ』1968年  
©空想工房

#### 【開館時間】

火～金： 10:00 - 20:00  
月土日祝： 10:00 - 18:00  
\*入館は閉館30分前まで

#### 【休館日】

一部の月曜日  
展示替え期間(不定期)  
\*展覧会により休館日は異なります。

#### 【所在地】

〒545-6016  
大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43 あべのハルカス16階

#### 【最寄駅】

近鉄南大阪線「大阪阿部野橋」駅 直上  
JR各線「天王寺」駅  
地下鉄御堂筋線「天王寺」駅  
地下鉄谷町線「天王寺」駅  
阪堺上町線「天王寺駅前」駅 よりすぐ

#### 【アクセス】

